

令和3年第2回 新座市教育委員会 定例会  
会 議 録

招集期日	令和3年2月25日 午後3時	場所	市役所本庁舎304会議室			
開閉日時 及び宣告者	令和3年2月25日 午後3時 開会 令和3年2月25日 午後4時10分 閉会	宣告者	金子 廣志 金子 廣志			
教育長	金子 廣志					
委員	議席番号	氏名	出・欠			
	1	鈴木 松江	○			
	3	脇田 美保子	○			
出席職員	議席番号	氏名	出・欠			
	2	小泉 哲也	○			
	4	宮瀧 交二	○			
出席職員	①教育総務部長	○	②教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長	○	③教育総務課長	○
	④中央公民館長	○	⑤中央図書館長	○	⑥学校教育部長	○
	⑦学校教育部副部長兼教育支援課長	○	⑧学務課副課長	○	⑨教育相談センター室長	○
	事務局 戸川真理子、城間悦子					
会議事件名	発言者	発言の要旨				
開会	教育長	令和3年第2回新座市教育委員会定例会を開会する。 午後3時				
会議録承認	教育長 各委員 教育長	令和3年第1回新座市教育委員会定例会及び第1回臨時会の会議録の承認について、質疑はあるか。 承認 令和3年第1回新座市教育委員会定例会及び第1回臨時会の会議録は承認された。				
議案第3号 議案第4号 議案第5号	教育長  教育総務課長  教育長	議案第3号「新座市生涯学習センター規則を廃止する規則について」、議案第4号「新座市教育委員会公印規程の一部を改正する規程について」及び議案第5号「新座市教育委員会文書規程の一部を改正する訓令について」は関連があるため、併せて審議したい。教育総務課長から説明願う。 本議案は、生涯学習センターが令和3年3月31日をもって廃止されることに伴い、規定の整備を図るものである。 議案第3号では、新座市生涯学習センター規則の廃止、また、附則にて新座市教育委員会事務局組織規則の一部改正を提案する。改正の内容は、第2条第2項の生涯学習スポーツ課が所掌する施設から生涯学習センターを削除するとともに、第4条の生涯学習スポーツ課の事務分掌から「(13) 新座市生涯学習センターに関すること」を削除するものである。 議案第4号は、新座市生涯学習センター館長の印を廃止し、議案第5号は、生涯学習センターの文書記号を廃止するために一部改正をお願いするものである。 議案第3号、議案第4号及び議案第5号について、質疑はあるか。				

議案第37号	各委員 教育長	承認 議案第3号、議案第4号及び議案第5号は、承認する。
	教育長	議案第37号「教育委員会の事務に関する点検評価報告書について（継続審議）」を教育総務課長から説明願う。
	教育総務課長	本議案は、継続審議をお願いしているものであり、令和2年第8回教育委員会定例会にて所管課の一次評価の結果をお示しし、第11回教育委員会定例会にて教育委員の皆様方による二次評価について御審議いただいた。その後、5名の学識者から一次、二次評価を踏まえた講評を頂いたため、最終的に令和2年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書に取りまとめ、委員の皆様事前に配布させていただいた。学識者の皆様からの講評は、報告書の30ページから掲載している。
	教育長	また、本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、市議会に提出することを併せて報告する。
	委員	議案第37号について、質疑はあるか。
	教育長	学識者の講評の中に「IoTネットワーク」とあるが、どのような意味か教えてほしい。
	教育総務部長	IoTは「インターネット・オブ・シングス」の略で、例えば帰宅すると自動的に電灯が点灯したり、エアコンが稼働したりと、生活上の物品をネットワークで繋いでより快適な社会を築いていくことを意味する。
	委員	専門的な用語で、あまり我々には馴染みがないため、報告書に注釈を付けたいと思う。
	教育長	以前にも伝えたが、報告書1ページの学識者の名簿に専門分野を記載してほしい。そうすれば、どのような専門的な観点から評価して下さったかが分かる。
	教育総務課長	中村昭作氏の役職が「新座市人権教育推進協議会会長」と記載されているが、既にこの職を退任されているのではないか。
委員	「新座市社会福祉協議会顧問」とすべきところを誤って記載してしまった。申し訳ないが、訂正をお願いしたい。	
	まずは、点検評価報告書の作成をしていただき、感謝申し上げます。令和元年度は、2か月弱の間、新型コロナウイルスの影響を受けたが、概ね計画された事業が順調に実施され、成果を上げていたと認識している。	
	今回の学識者の講評では、若干点検評価の対象年度と時期のずれを感じた箇所もあった。我々自身も二次評価をするとき混同してしまうこともあったため、大変難しかったと思う。来年度の評価は、さらに難しくなるのではないかという思いはあるが、大変具体的に項目などを示しながら、今後の教育の方向性を示唆いただくよう	

		<p>な評価をしていただいたと思っている。</p> <p>また、本市の点検評価の取組を大変プラス評価していただいたことは嬉しく感じた。今後は、この点検評価を生かした取組を進めていければよいと思う。</p> <p>学識者の講評で「課題の克服以上に、良い取組を認め合い、その意義を学び合うとことに力を割くほうが健康的であり、建設的であると思う。今後とも、本市の取組において、優れた取組を認め合えるような点検評価活動になるよう祈念する。」と記載していただいております。教育委員会の活動を認めた上で評価してくださっていることが分かり、この部分に感動を覚えた。</p> <p>点検評価は、報告書ができて終わりではなく、この内容を教育委員会の先生方や事務局職員に周知していただくことで初めて完成するものである。教育委員も含めて現場の皆さんと内容を共有して、日々の業務に生かしていくことが重要であるため、機会を捉えて内容を共有できるよう工夫していただきたい。</p> <p>この点検評価報告書は、関係機関には全て配布している。委員からのお話にあったように、校長会、教頭会等、また、公民館等においては館長会議等もあるため、その際に広く周知できるように努めていきたい。</p> <p>ほかに質疑がなければ承認としてよいか。 承認 議案第37号は、承認する。</p> <p>議案第6号「新座市立小・中学校教職員の人事異動（内申）について」は人事案件のため、非公開とする。本日の会議の最後に関係部署から資料を配布し、審議をお願いしたい。</p> <p>教育総務部長から2点報告がある。</p> <p>①令和3年度当初予算編成に向けた見直し事業一覧について報告する。前回の教育委員会定例会で令和3年度の予算編成に向けて41事業の見直しをすることを御説明したが、その他の事業についても当初予算編成等の中で削減の見直しを図る可能性があるとお伝えしたところである。本日は、41事業以外で見直した事業についてまとめた資料を配布させていただいたので、御確認願いたい。</p> <p>②新座市緊急経済対策第6弾について報告をする。本市では、新型コロナウイルス感染症対策として様々な緊急経済対策、感染症対策の事業を行っているところだが、この度、国の特例交付金を活用した第6弾として、事業を実施することとした。</p> <p>教育委員会関連としては、電子図書館の導入が決定している。新たに電子媒体の電子書籍を導入して、自宅等</p>
議案第6号	委員 委員 教育長 委員 教育長 教育長	
諸報告	教育長 教育総務部長	

<p>教育長 委員</p>	<p>からスマートフォンやタブレット等で図書を閲覧できるシステムであり、現在のところ、県内では12市町村で導入されているものである。予算が議決され次第、準備に入りたいと考えている。</p> <p>教育総務部長からの報告に対する質疑、意見はあるか。 大変厳しい財政状況であることを再確認した。予算を削る作業も苦勞されたのではないかと思う。</p> <p>教育シンポジウムを廃止するという形になっているが、その経緯等を教えてほしい。</p>
<p>教育相談センター室長</p>	<p>新しい生活様式ということで、800人規模の人を集めるといふ点の見直しもあったが、それ以上にコロナ禍に至る前の段階で、現在、コミュニティスクールを導入して、それぞれの地域が子供たちの健全育成を推進していることを鑑みると、大人数を集めて事業を実施するよりも、コミュニティスクールを中心とする方向にシフトしていったほうがよいのではないかという考え方から廃止という結論に踏み切ったものである。</p>
<p>委員</p>	<p>教育シンポジウムは、本市の特色の一つでもあったという気もするが、関係団体の方たちの意向なども伺った上での決定か。</p>
<p>教育相談センター室長</p>	<p>今年度の実施は、コロナ禍で中止が決定していた中で、事業自体の廃止について一堂に会しての検討はできなかった。しかし、実行委員の皆様と個別にお話をさせていただき、御意見を頂きながら決定に至ったという経緯である。</p>
<p>委員</p>	<p>休止であれば、いずれ何らかの形で検討があるかと思うが、廃止となったものを復活するのは難しい。廃止の決定をするに当たり、完全に使命を終えたものも当然あるとは思うが、将来、市の財政が多少好転した時に、この事業は少し形を変えてでも復活した方がよいというような声があったら、再検討していただきたい。児童生徒、市民の皆様意見を伺いながら検討していくような段階を一つ持っていたいただくと有難い。</p>
<p>委員</p>	<p>市民まつりについては、中止が決定しているが、新型コロナウイルスが原因で中止となったと受け止めている市民の方が多い。市の財政危機によるという部分があまり理解されていないように思う。</p> <p>私が所属している会の会員には、「これまでは一人当たり50円程の負担で合唱の祭典のステージに上がっていたが、これからは自分たちで考えて、自分たちの力でやっていくという考え方をしなければならない。」と伝えている。今までは違うという覚悟を各々が持った方がよいと思っている。</p> <p>先程の点検評価の学識者の講評に「新たな発表の機会の充実を探る社会教育団体等の取組に積極的な対応を可能とする相談体制の充実を図る必要がある。」という記</p>

	<p>教育長</p>	<p>述があるが、教育委員会は、休止だから何もやらないのではなく、市民がどのようなことを望んでいるか、どういう形で運ぼうとしているかということを受け入れる気持ちを持って、対応していただくよう私からもお願いしたい。</p> <p>今回新しい行事の在り方を見直すという観点で検討をした。一つは新型コロナウイルスの影響ということで、大勢が集まれないという視点がある。もう一つは、本市の財政状況が厳しい中で、様々な補助金がカットされているという視点である。伝統的な行事の中で培ってきたものもあることは確かだが、行事というものは時代とともに移り変わっていくものであり、新たな行事を創出したいという考えもある。教育シンポジウムに関しては、当初、いじめ撲滅キャンペーンという形で始まったが、徐々に事業自体が大きくなり、地域活動の報告会や学校の活動報告、あるいはブラスバンド等の発表など、教育活動をPRするような行事に変わってきた。このようなことから、新しい時代に合った目的を今一度見つめ直して、新たな行事を創出する準備にかかった方がよいのではないかということで、今回廃止という決断に至ったものである。今後は、関係者の皆様の御意見を伺いながら、コミュニティースクールの活動等も発表する機会を作ればよいと思っている。</p>
	<p>教育長 教育総務課長</p>	<p>続いて、各課からの諸報告に移る。</p> <p>埼玉キワニスクラブから申請のあったMYポエムコンクールを始めとして5件の事業に対して名義後援を承認した。</p>
	<p>教育支援課長</p>	<p>令和2年度新座市学校評価システムの本評価について報告をする。</p> <p>今年度はコロナ禍で例年どおりの教育活動が行われなかったが、今回の本評価ではその特徴が表れた結果となった。本市全体の本評価の中で成果が見られた項目が2点ある。7番の「学習ルールを決めて、それに基づいた授業を展開している。」と17番の「学校だよりやホームページなどで定期的に情報提供している。」という項目が高い数値を示した。コロナ禍で、学校行事が精選されていく中、学校での授業が落ち着いて行われたこと、また、学校のホームページの充実が図られてきたことが評価できる。一方、11番の「場に応じた言葉遣いや挨拶」が課題として挙げられるが、昨年度の数値よりも改善傾向が見られている。引き続き学校に働き掛けていく。</p> <p>校種ごとの特徴として、小学校は、成果としては17番の「学校だよりやホームページなどで定期的に情報提供している。」に加えて18番の「学校応援団の活動」</p>

	<p>教育長 委員</p> <p>教育支援課長</p> <p>教育長</p> <p>教育相談センター</p>	<p>が挙げられる。本日、地域連携共同活動で野寺小学校が文部科学大臣表彰を受けることになった。コロナ禍ではあるが、各学校でも学校応援団の活動が非常に活発に行われていることが分かる。課題としては、10番の「英語の活動」についてが挙げられる。英会話の時間が昨年度で終了し、今年度から英語の教科化ということで取り組んでいるが、その移行の部分で課題が見られるということが特徴として見られた。</p> <p>中学校については、成果は先ほど申し上げた7番の学習のルールに関する内容、14番、15番の「健康・体力の向上」が高い数値を示している。課題としては、13番の「教職員が規範意識を高める指導を行う。」が少し低い数値となっている。なお、11月の中間評価では、小学校は15番の「健康・体力の向上」が非常に低い数値であったが、本評価では数値が改善している。コロナ禍で徐々に学校での活動が元に戻っていった様子が見られたことがこの評価から分かる。</p> <p>教育支援課からの報告に対する質疑、意見はあるか。</p> <p>特に、中学校の学力向上の7番と健康・体力の向上の14番、15番がAということで、今までよりもA評価が増えた気がした。学力向上については、8番から10番もAに近いBとなっており、学力向上に大変力を入れていることが伝わってくる。</p> <p>今年度は、学校行事等が中止され、部活動等もほとんど行えず、様々な教育活動が制限される中で、授業については学びを止めないということで各中学校の先生方が授業に着目し、授業時数の確保という形で授業をしっかり行っていただいた成果が現れていると捉えている。</p> <p>授業に関しては、タブレットが導入されて、子供たちの学習の方向も少し変わってきた。全ての学校が実施しているわけではないが、キュピナというソフトを活用すると、その子供に応じたプログラムが提供されるため、非常に分かりやすい。今まで一斉に一定のレベルで先生方が教えていたものが、このソフトでは個別最適化されたものが提供されるため、これからは授業が大きく変わってくると思う。既に数校で実験をして、良い成果が上がっているため、3月中には全ての学校で活用できるよう、現在、教育委員会で業者と交渉しているところである。</p> <p>8件の報告をする。</p> <p>①2学期末長期欠席児童生徒調査について報告をする。</p> <p>30日以上欠席の不登校は、小学校が71名、中学校が132名である。前年同時期と比較すると、小学校は10名の増加、中学校は8名の増加となっている。</p> <p>今年度は学校が6月からスタートしたため、7月末の</p>
--	--	--

		<p>不登校児童生徒数は前年度より少なかったものの、特に小学校では10月時点で既に前年度より増加となり、現在に至っている。学校では、校内の教育相談体制を充実させ、不登校傾向の児童生徒に対して早期から市の相談体制と連携した対応を図ってきた結果、教育相談室や適応指導教室ふれあいルームにつながるケースも多く、12月末の段階で7名の児童生徒が学校に復帰することができた。先日の校長会では、学年末に向け、個別の状況に応じた細やかな支援について職員に再度確認するとともに、学年や学校間での取組の必要について示したところである。</p> <p>②から⑦については、教育相談員及びさわやか相談員、謝礼金対応職員（子どもと親の相談員と学校カウンセラー）、介助員、特別支援教育支援員、日本語指導員、特別支援教育推進員の配置について、名簿を配布させていただいた。令和3年度は、介助を必要とする児童が増加するため、7名増員して17名配置する予定である。特別支援教育支援員は、現在も募集中である。日本語指導については、これまで市で指導員を配置していたが、より一層の推進を図るため、県に申請していたところ、令和3年度は県から1名加配を受けることができた。新座小学校に拠点を置き、体制を強化していく予定である。特別支援教育推進員については資料がないが、引き続き前第四小学校教頭の石崎直美氏を配置する予定である。</p> <p>⑧小・中学校特別支援学級の設置について報告をする。新たに片山小学校に弱視学級、栄小学校に自閉情緒障がい学級を新設予定である。また、小学校3校、中学校3校に知的学級、計6学級を増設する予定である。</p> <p>教育相談センターからの報告に対する質疑、意見はあるか。</p> <p>不登校について、7名の児童生徒が学校に復帰できたということで、大変素晴らしいと思った。資料を見ると、小学校では3年生と4年生、中学校では1年生と2年生で増えていることが分かるので、それらの学年の指導に少し工夫をしていただけたらよいのかもしれない。</p> <p>教育相談室の相談員と第四中学校のさわやか相談員の両方に菅原久美子氏が配置されているが、これは同じ人物か。</p> <p>資料の記載誤りである。菅原氏は、第四中学校のさわやか相談員から教育相談室の相談員に配置が替わったため、第四中学校には荒井恵美子氏が入る。大変申し訳ないが、資料の訂正をお願いしたい。</p> <p>日本語指導員の県の加配の説明があったが、資料にある吉見氏がその方ということか。</p> <p>吉見氏は、従来どおり市費で配置している日本語指導員で、更に県から教員が1名加配となるものである。</p>
教育長		
委員		
教育相談センター室長		
委員		
教育相談センター室長		

その他	委員	つまり、市で配置している指導員1人と県の加配の方1人で合計2名ということか。
	教育相談センター室長	本来であれば、もう1名日本語指導員を市費で配置しているが、長く勤めていただいた指導員が退職されるということになり、1名減となっている状況である。
	教育長 委員	その他、全体を通じて何か意見等はあるか。 今、我々は、ウィズコロナの新しい生活様式の中で、多分日本の歴史上で最も清潔な暮らしをしているのではないかと思う。今年度、インフルエンザによる学級閉鎖がないのは、マスク、手洗い、除菌等の新型コロナウイルスへの対応が、結果的にインフルエンザを撲滅しているということなのか。
	学校教育部長	インフルエンザについては、個別に感染者はいるかもしれないが、教育委員会まで報告が上がってくるような件数には至っていない。今年度、学級閉鎖等はゼロで継続している。
	教育長	これは、本市だけではなく、全国的に言えることではないか。やはり新型コロナウイルスへの対応がインフルエンザを抑え込んでいるのではないかと思う。 最後に私から一つ報告がある。来年度から国が小学校を35人学級にするということで、埼玉県の場合、来年度は3年生まで35人学級が実現される。その後、令和4年度には4年生、令和5年度には5年生ということで進んでいく。現在、教室不足がないか試算をしているところだが、来年度は現状のまま対応できそうである。 中学校は1年生が38人学級とされているが、本市の場合40人学級としているので、今後検討の必要がある。38人学級にすると、学級数が増える学校がいくつか出てくる。その場合、教員が1人しか増員されないため、各教科の授業の持ち時数が増えるため、今までは見送ってきた。県内では、同じような対応をしている教育委員会も多いのだが、小学校で少人数学級が進行していくと、中学校でも1年生は38人学級を導入する方向で考えていかなければならないと思う。今後、県とも協議しながら進めていきたい。
教育長	他になければ、次回以降の会議日程を確認する。 令和3年第2回臨時会は3月10日（水）午後0時30分から、市役所第二庁舎教育長室にて、第3回臨時会は3月18日（木）午後0時30分から、市役所第二庁舎教育長室にて、第3回定例会は3月24日（水）午後3時から、市役所本庁舎3階の301会議室にて行う。 この後、議案第6号「新座市立小・中学校教職員の人事異動（内申）について」を審議したい。関係部署以外の方は退席願う。	



議案第6号	教育長	<p>議案第6号「新座市立小・中学校教職員の人事異動（内申）について」は、人事案件につき、非公開とする。</p> <p style="text-align: center;">（非公開）</p>
	教育長	<p>議案第6号「新座市立小・中学校教職員の人事異動（内申）について」は、承認する。</p>
閉会	教育長	<p>これをもって、令和3年第2回新座市教育委員会定例会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">午後4時10分</p>

以上、会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため署名する。

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

書 記